



都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）														病床確保計画（緊急フェーズ）※1												
	フェーズ1		フェーズ2		フェーズ3		フェーズ4		フェーズ5		フェーズ6		緊急フェーズⅠ		緊急フェーズⅡ		緊急フェーズⅢ										
	即応病床 (計画)数	うち重症者 向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け				
26 京都府	679	5,990	689 30	154 0	入院者数、新規入院者数等の状況を見ながら、専門家の意見も踏まえて総合的に判断	875 110	171 0																				
27 大阪府 (※4)	3,833	39,702	1,470 0	170 0	重症：およそ100人以上（フェーズ1の病床170床の60%） 軽症中等症：およそ780人以上（フェーズ1の病床数1,300床病床数の60%）	2,290 0	240 0	重症：およそ168人以上（フェーズ2の病床数240床の70%） 軽症中等症：およそ1,435人以上（フェーズ2の病床数2,050床の70%）	2,730 0	330 0																	
28 兵庫県	1,088	7,897	300 0	30 0	新規陽性者1週間平均20人以上または病床利用率10%以上	600 0	60 0	新規陽性者1週間平均80人以上または病床利用率20%以上	1,000 0	100 0	新規陽性者1週間平均400人以上または病床利用率50%以上	1,200 0	120 0														
29 奈良県	227	1,734	0 0	0 0	今後の感染状況を踏まえて、決定 上り：病床利用率50%を1つの目安として、感染状況を踏まえて決定 下り：感染状況を踏まえて、今後検討	371 0	32 0	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	492 0	34 0																	
30 和歌山県	104	777	167 0	17 0	国内内外の状況を総合的に判断	470 0	26 0	基準日（週当たり新規感染者数15人/10万人）等、総合的に判断	620 0	40 0																	
31 鳥取県	47	325	144 0	19 0	入院患者数がフェーズ1の即応病床数の4割に達する日	239 0	30 0	入院患者数がフェーズ2の即応病床数の4割に達する日	350 5	47 0																	
32 島根県	45	450	127 0	5 0	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	158 0	10 0	入院患者総数が50人となった日	207 0	16 0	入院患者総数が100人となった日	257 0	25 0														
33 岡山県	307	1,893	211 0	27 0	直近1週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	401 0	37 0	稼働病床が100床を超えたとき	501 0	51 0	稼働病床が200床を超えたとき	557 0	68 0														
34 広島県	111	903	302 0	32 0	新規感染者が継続的に発生	376 0	35 0	直近7日間の10万人当たり新規感染者数4人以上	501 0	39 0	直近7日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	573 0	46 0														
35 山口県	206	1,400	134 0	8 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	221 0	12 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	423 0	23 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	549 0	47 0														
36 徳島県	77	605	118 0	6 0	入院患者数が20人となった日	142 0	6 0	入院患者数が70人となった日	175 0	16 0	入院患者数が120人となった日	234 0	25 0														
37 香川県	111	867	148 0	17 0	入院患者がフェーズ1の病床数の3分の1を超える	182 0	21 0	入院患者がフェーズ2の病床数の2分の1を超える	264 0	30 0																	
38 愛媛県	90	655	132 0	5 0	①週当たり新規陽性者数34人（2.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の10%（27人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	167 0	10 0	①週当たり新規陽性者数101人（7.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の20%（53人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	261 0	19 0																	
39 高知県	60	500	78 0	16 0	フェーズ1の病床数の10%が利用された段階	147 0	16 0	フェーズ2の病床数の20%が利用された段階	183 0	16 0	フェーズ3の病床数の35%が利用された段階	242 0	24 0	フェーズ4の病床数の45%が利用された段階	253 0	24 0											
40 福岡県	1,253	11,563	335 0	76 0	入院者数100人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	524 0	91 0	入院者数160人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	791 0	106 0	入院者数240人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,315 0	190 0	入院者数660人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,558 0	206 0											
41 佐賀県	182	1,322	248 0	3 0	入院患者数が25人となったとき	300 0	8 0	入院患者数が50人となったとき	350 10	24 0	入院患者数が90人となったとき	457 10	42 0	入院患者数が130人となったとき	468 10	48 0											
42 長崎県	137	983	76 0	21 0	即応病床の3分の1以上使用	142 0	21 0	即応病床の2分の1以上使用	278 0	21 0	二次医療圏ごとに確保する即応病床の2分の1以上使用	440 0	36 0														
43 熊本県	300	2,337	558 0	49 0	以下のいずれかに該当した場合 ①即応病床利用率が25%を上回る状況が続く場合 ②その他、高齢者施設でのクラスター発生等により体制移行が必要となる場合	669 0	53 0																				
44 大分県	215	1,463	361 0	34 0	・重症者用病床利用率10%以上・病床利用率10%以上・感染経路不明者割合30%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	408 0	34 0	・重症者用病床利用率20%以上・病床利用率20%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	417 0	34 0	・重症者用病床利用率50%以上・病床利用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	506 0	43 0														
45 宮崎県	221	1,724	225 0	12 0	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	265 0	15 0																				
46 鹿児島県	199	1,679	45 0	1 0	フェーズ1の即応病床に対する3日間の病床利用率が30%以上に達した場合	279 0	6 0	フェーズ2の即応病床に対する3日間の病床利用率が40%以上に達した場合	397 0	11 0	フェーズ3の即応病床に対する3日間の病床利用率が50%以上に達した場合	549 0	33 0														
47 沖縄県	262	1,656	117 0	16 0	入院患者が10人を超えたとき	175 0	19 0	入院患者が23人を超えたとき	305 0	30 0	入院患者が150人を超えたとき	489 0	49 0	入院患者が200人を超えたとき	648 0	60 0											
全国計 (※2)	22,803	199,168	病床確保計画 (一般フェーズ)		確保病床（計画）数	40,832		確保病床（計画）数 (うち臨時の医療施設等)	749		確保病床（計画）数 (うち重症者向け)	4,000		確保病床（計画）数 (うち臨時の医療施設等)	0		病床確保計画 (緊急フェーズ)	31,292	266,261	最大確保病床（計画） 数	45,340	最大確保病床（計画）数 (うち臨時の医療施設等)	1,889	最大確保病床（計画）数 (うち重症者向け)	4,362	最大確保病床（計画）数 (うち重症者向け)	0

※1 病床確保計画（緊急フェーズ）は、感染者急増時の緊急的な患者対応方針に基づく計画を指す。

※2 「即応病床（計画）数」、「即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等）」、「うち重症者向け即応病床（計画）数」、「うち重症者向け即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等）」の全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。

※3 東京都の重症者向け病床数は東京都基準（人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計したものであり、国基準（集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計した東京都の重症者向け病床数は一般フェーズにおける最終フェーズ及び緊急フェーズにおける最終フェーズにおいて1,468床となる（その場合、一般フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,958床、緊急フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で5,320床となる）。

※4 大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したものである。